Moodleプラグインの翻訳

鈴鹿工業高等専門学校 機械工学科 白井達也 (shirai@mech.suzuka-ct.ac.jp)

なぜ翻訳しなければいけなかったのか



学校のMoodleにプラグインを追加して! 最新版にも対応しているから!

> 日本語言語パックが無いとダメ (マニュアルも欲しい)



実際に利用する教職員はMoodleに詳しくないので、未翻訳では使って貰えない。 (使用頻度の低いプラグインのメンテナンス:バージョンアップは無駄、リスク)

訳語が統一されていないと:

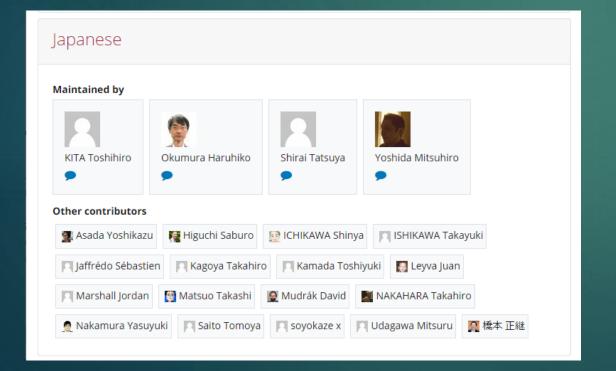
マニュアルが作成できない トラブル時の意思疎通が難しい

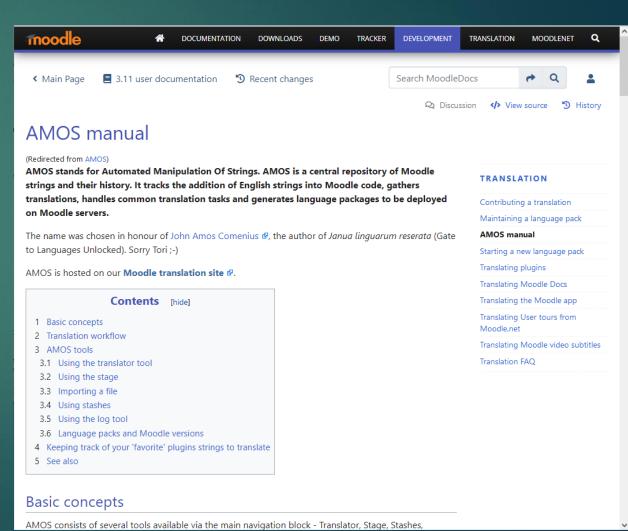
AMOS (Automated Manipulation Of Strings)

(リンク)

Moodleコアおよび標準ツールの翻訳者:吉田光宏氏 補助:喜多敏博先生,奥村晴彦先生,白井達也

その他:約17名の方々





勝手に翻訳して良いのだろうか?

まず,手を挙げて反応を待つ (moodle.org / Japanese Moodle forum / 日本語翻訳フォーラム)

(リンク)



特に異論がなければ翻訳

途中経過や訳語案(他のモジュールとの整合性)を投稿、マニュアル等も可能ならば配布

<u>(リンク)</u>



ファイルを添付します。moodledata/lang/ja_localに配置して頂きますと、一か所(student provided)を

そのうちの一つがslotです。時間帯と訳されていたのですが、誤解を受けやすい印象がありましたのでスロットとしました。繰り返しのスロット設定などを行う際に、"時間帯"を設定してそれを継続時間でスロット

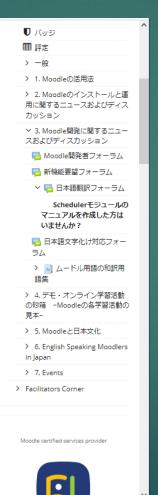
に分割します、16:00から18:00を15分間、休憩5分間で分割する、などですね、時間帯を分割して時間帯、と

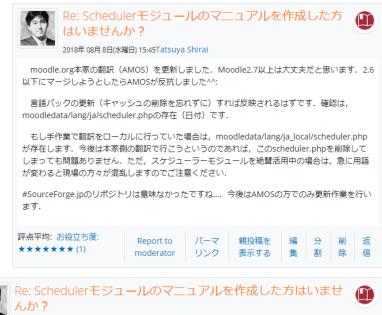
なってしまいますので、指定された時間帯をスロットに分割する、の方が誤解が少ないですね、確かにあまり

除いて日本語翻訳されて表示されます.

Japanese

オリジナルに対していくつか訳語を変えてあります.



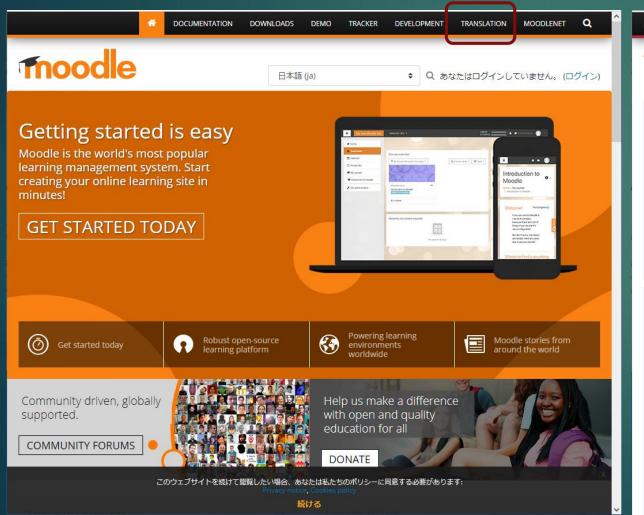


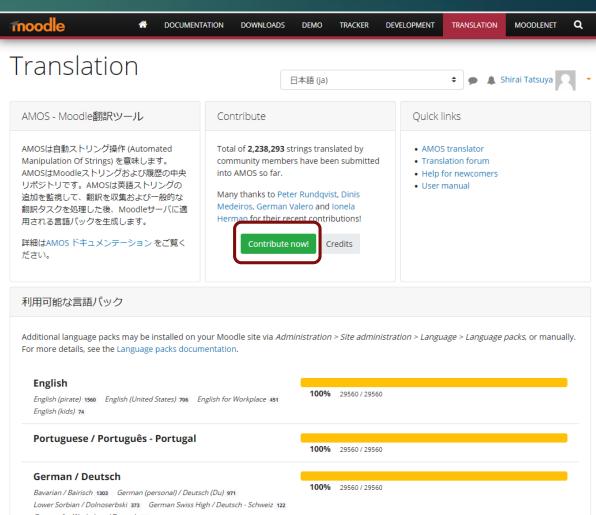


^ ✔ □ すべて強調表示(A) □ 大文字/小文字を区別(C) □ 発音区別符号を区別(D) □ 単語単位(W) 6 件中 2 件目 X □ すべて強調表示(A) □ 大文字/小文字を区別(C) □ 発音区別符号を区別(D) □ 単語単位(W) 6 件中 2 件目

AMOSへのアクセス方法(1)

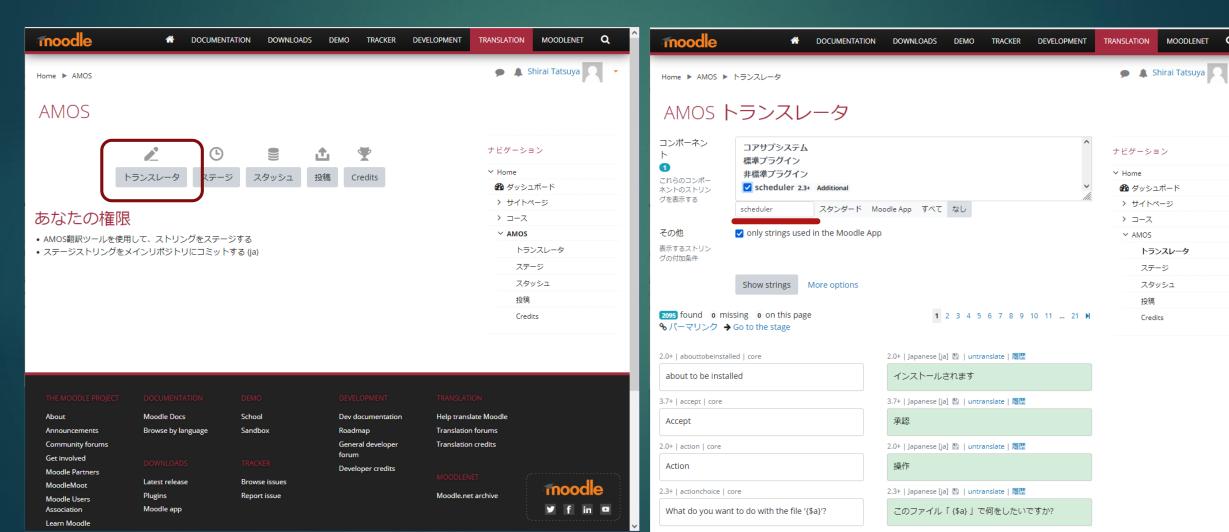
【TRANSLATION】から





AMOSへのアクセス方法(1)

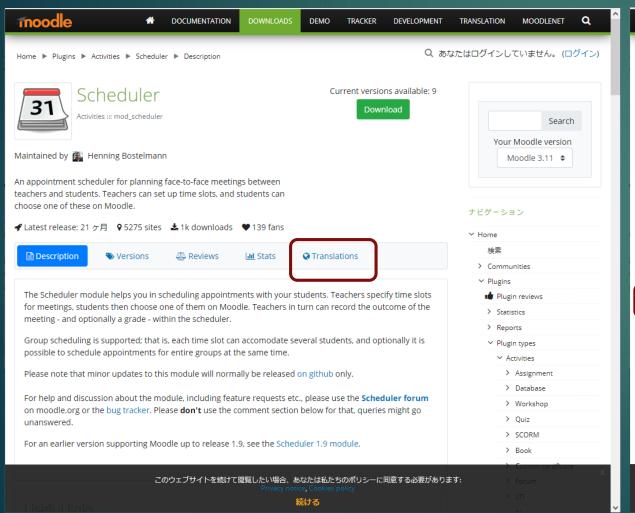
フィルターにプラグインの名前を入力(例:scheduler)

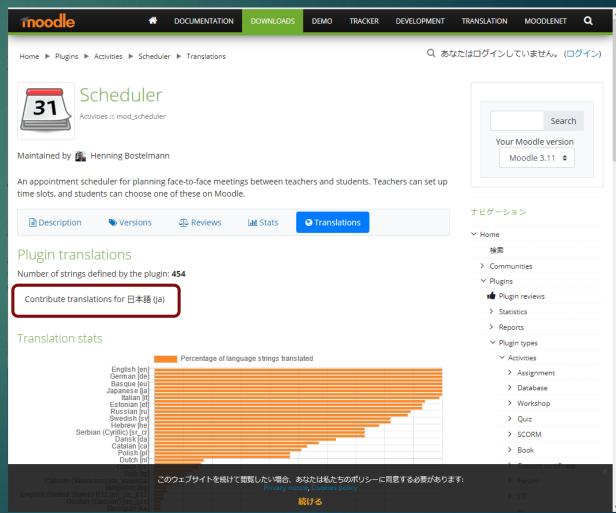


MOODLENET Q

AMOSへのアクセス方法(2)

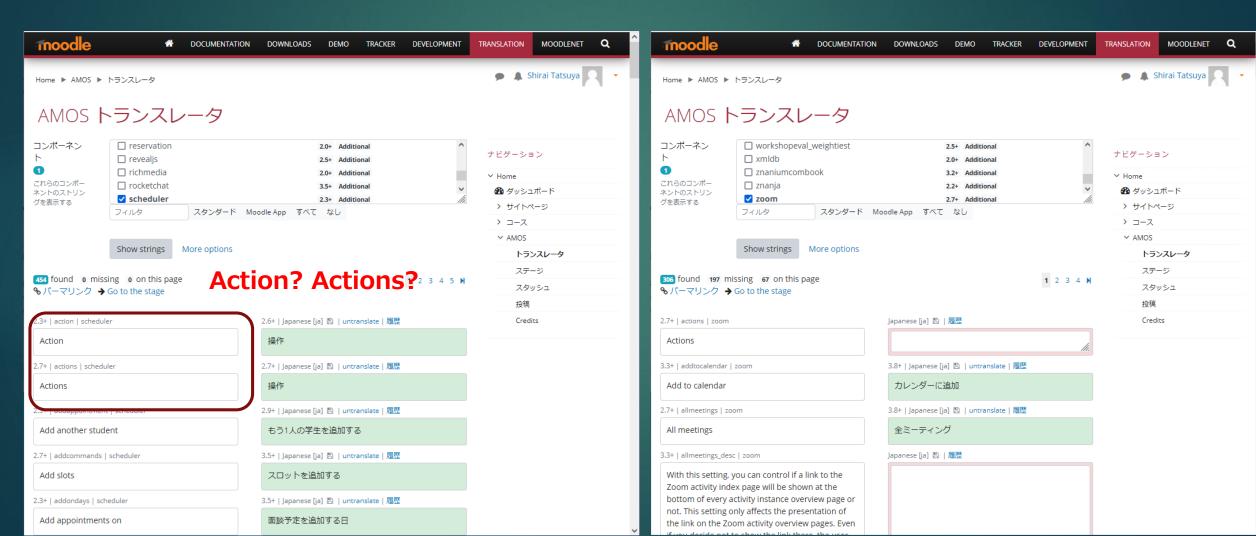
【 DOWNLOADS 】から:翻訳したいプラグインのダウンロードページに移動





対訳を行う

未翻訳, オリジナルの変更, 訳語(英語, 日本語)での検索が可能

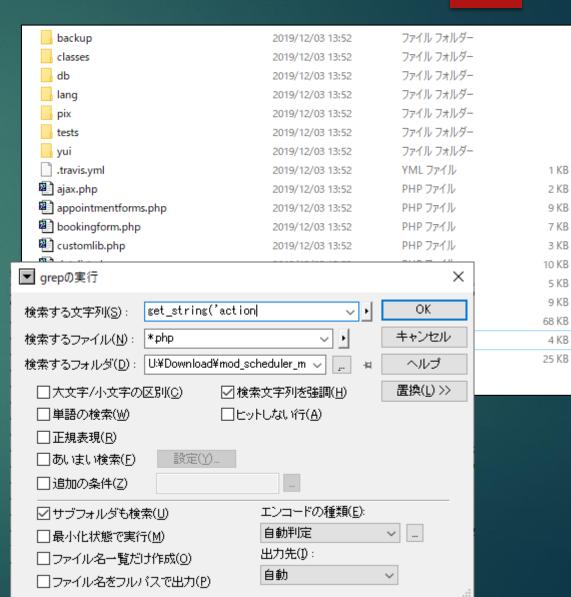


それは一体, どこで使われているのか?

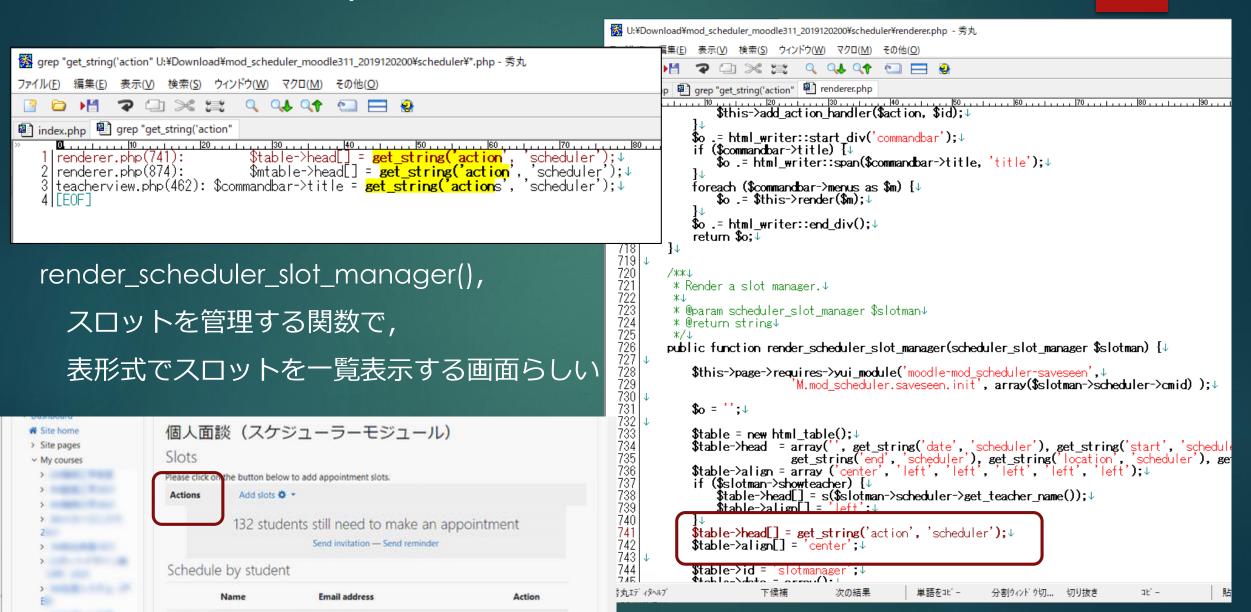
ソースリストを読む(grep で使用箇所を検索)



Moodleでは, get_string('見出し語', 'モジュール')で, 選択された言語の訳語に置換されるので, 「get_string('action」で検索



それは一体, どこで使われているのか?



まとめ



(発表内容)

- ▶ Moodleにおける翻訳管理システムAMOSの概要
- ▶ 手を挙げるには、訳語に関する情報を共有するには
- ▶ その文章が機能のどこで用いられているか確認が必要 (自分専用のMoodleサーバーがあると良い)
- ▶ ソースを読む必要がある場合もある(PHP+Moodleの知識と経験が必要)

(話題提供)

- ▶ 英語と日本語の書式の違い(日時, 個数など)
- ▶ 超訳は許されるのか
- ▶ エラーメッセージの翻訳の良否(ユーザー向けか,システム寄りか)